

日本計量新報

計測と科学

日本計量協会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
E-MAIL: jic@jic.or.jp

Yamato

業界初の振動除去機構を
搭載で作業効率アップ
デジタル式上皿自動はかり

"UDS-1W/1VD"



天和産業株式会社
電話 0783-914-9577

今週の主な記事

関ブロ、東北・北海道計量大会の概要決まる
長野県計量5団体が統合
過積載防止計量器特集(2)
計量史を語る会、日電検人事
計量制度見直し説明会開催、日本認定協同協議会が発足
新製品「ユース」企業「ユース」企業人事ほか
寄稿・齊藤勝夫氏、社説
宮城県計量協会創立55周年特集

①面
②面
③面
④面
⑤面
⑥面
⑦面
⑧面

関ブロ、東北・北海道計量大会の概要決まる

関東甲信越は10月17日、東北・北海道は10月11日開催

関ブロは5つの分科会で討議 東北・北海道は計量協会連合会総会を同時開催

2006(平成18)年度関東甲信越地区計量協会・計量士会合同連絡協議会が、10月17日(火)、神奈川県計量協会と神奈川県計量士会の当番で、横浜市の「ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル」で開催される。06(平成18)年度東北・北海道計量大会は、10月11日(水)・12日(木)に、(社)福島県計量協会の当番で、福島市の「摺上亭大鳥」で開催される。

関東甲信越地区計量協会・計量士会合同連絡協議会

関東甲信越地区計量協会の3部構成で実施する。会・計量士会合同連絡協議会は、合同で開かれるようになっている。今年には分科会で討議する方式を採用し、基調講演、分科会、全体会議



になってきており、必要とされる範囲も化学、医療分野などへ拡大している。最先端技術をささえるのも高度な計測技術である。工業技術院長や国際度量衡委員として活躍し、幅広い知見を持つ飯塚氏が計量の社会的使命を解明する。

東北・北海道計量大会

10月11日は、東北・北海道計量大会、東北6県北海道計量協会連合会総

長野県計量5団体が統合

「長野県計量協会」が新たに発足

長野県計量連合会は、6月21日開催の定期総会で、同会を統合することを決議した。これにより、新たに長野県計量協会が発足した。新会長には、連合会でも会長を務めていた土田泰秀東洋計器社長が選ばれた。新団体の会員社数は448社(個人含む)となった。

展と県内産業の振興に大きな役割を果たしてきている。今回の統合は、国際化、技術革新及び規制緩和など計量業界を取り巻く情勢の変化に的確かつ柔軟に対応することが目的。組織を統合することで、足腰の強い任意団体として再出発し、計量行政機関の補完機関として積極的に活動する。新団体では、旧団体の活動を部会

り、長野県内の計量5団体で構成する組織となつた(平成14年に管理協会の長野県計量士会が合併)。全国では最も歴史が古く、設立以来45年にわたる足腰の強い任意団体として再出発し、計量行政機関の補完機関として積極的に活動する。新団体では、旧団体の活動を部会

困っている事例などを事前に各県から出してもらい、事例をもとに討議する。

③は、計量制度の見直しでも意見が出されている計量行政への計量士活用、密封商品に対する検査手法のあり方などを討議する。

④も計量制度の見直しに絡む問題であり、規制の対象機種、規制のあり方、民間の能力活用のし

しい計量制度の方向について」を予定している。民話「ふくしまのむかし話」。

【次第(予定)】
◇東北・北海道計量大会(11日)
◇開会あいさつ
◇計量功労者表彰
◇大会記念事業(記念品の贈呈)
◇大会宣言及び採択
◇来賓祝辞
◇来賓、招待者紹介
◇祝電披露
◇閉会
◇東北6県北海道計量協会連合会総会(11日)
◇開会あいさつ
◇議事(前年度総会報告、各道県計量協会提出議題審議)
◇大会旗引継ぎ
◇閉会
◇講話
◇祝賀懇親会(11日)
◇視察研修(12日)

制に移行して、総合的な事業導入と運営の合理化、効率化を図る。将来は法人化を視野に入れ、県、特定市(長野市など県内4市)において、指定期検査機関の認定を得て計量器の検査を実施する。新団体の初仕事として、6月23日(金)、24日(土)の両日、日本計量史学会開催の「計量士をさぐる会2006 in 松本」を後援した。